

観光客がまた大津に来たくなる！ おむかえする大津の人が、大津を学ぶ

# 大津おもてなし塾

大津商工会議所 観光・運輸部会では、大津にある数多くの寺社、歴史資産、文化資産について理解を深め、大津人としての誇りを感じていただける連続講座「大津おもてなし塾」を開講します。

第1回 平成30年1月18日(木) 9:30~11:00

## 大津絵の歴史と早春の作画体験

江戸時代、東海道の宿場町として栄えた大津で旅人に人気を博していた大津絵。シンプルな描線で大胆に描き、色も七色ほどに抑えられ、その独特の画風が時を経て今も多くの人々を惹きつけます。大津絵の歴史解説を聞きながら、早春に相応しい「梅に鶯(うぐいす)」を受講者ご自身で色紙に描いていただく講座です。



登壇：大津絵の店 五代目 高橋信介氏  
会場：びわ湖大津プリンスホテル 3階 箱館  
定員：15名（先着順、受講できない場合のみご連絡いたします）

第2回 平成30年2月7日(水) 9:30~11:00

## 明治の一大プロジェクト「琵琶湖疏水」から感じる人々の想い

琵琶湖疏水の着工は明治18(1885)年。巨額の費用と約5年の歳月、最新の技術で造られました。京都府知事・北垣国道が、当時23歳の田邊朔郎を責任者に大抜擢、大津-京都間に舟運を開くとともに蹴上発電所を建設、日本の水力発電の先駆けとなりました。講座では田邊朔郎氏の孫・謙三氏から、この大事業に寄せた人々の想いを伺います。



写真提供：(公社)びわ湖大津観光協会

登壇：田邊謙三氏（田邊朔郎氏の孫）  
会場：琵琶湖ホテル 3階 瑠璃  
定員：50名（先着順、受講できない場合のみご連絡いたします）

第3回 平成30年3月12日(月) 9:30~11:45

## 1200年続く神々の祭「山王祭」を紐解く

延暦10(791)年、桓武天皇が日吉社に2基の神輿をご寄進されて以来1200年以上の歴史を有する山王祭。山王七社の7基の神輿をめぐる神事が複雑にからみあい、地元でも祭りを知るには7年かかると言われます。講座では、神職から祭りの歴史や各神事の意味について解説いただき、日吉大社を中心に祭りが行われる現地を見学します。



写真提供：(公社)びわこビジターズビューロー

登壇：日吉大社 禰宜 矢頭英征氏  
会場：坂本市民センター大ホール/日吉大社等現地見学  
定員：40名（先着順、受講できない場合のみご連絡いたします）

- 対象 大津市内の住民・事業者の方に限らず、どなたでも受講いただけます
- 申込 申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。
- 受付 当日は、開始30分前より受付いたします。
- 主催 大津商工会議所 観光・運輸部会（大津市打出浜2-1 コラボしが21・9階 TEL077-511-1500 FAX526-0795）
- 後援 大津市

受講料無料

### 「大津おもてなし塾」申込書

FAX:077-526-0795

氏名		住所	
事業所名		TEL:	FAX:
希望講座に○を	1/18 大津絵体験	2/7 琵琶湖疏水	3/12 山王祭

※ご記入いただいた情報は、本講座の運営・連絡にのみ利用します。